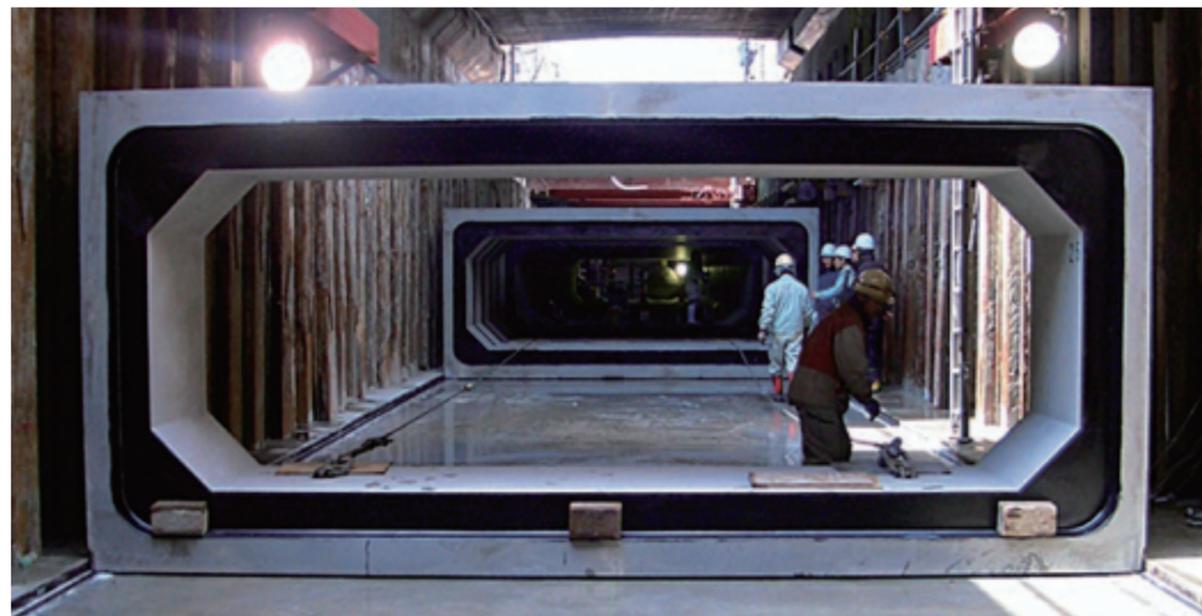


スライダー工法



特長

スライダー工法は、基礎コンクリートに埋め込んだガイドアングル上を、けん引機を用い、製品を滑らせて据付ける工法です。狭隘な場所や橋梁下の横断等、クレーンの設置が困難な場所において施工が可能です。

① 環境に配慮

重機を使用せず、ガイドアングル上を移動させるため、騒音・振動などの心配はありません。また、スライダー工法の荷降ろし地点は一箇所です。

② 施工性を考慮

布設の進行に合わせて布設位置に搬入車両やクレーンを横付けする必要がありません。また、曲がり部や曲線部の布設も可能です。

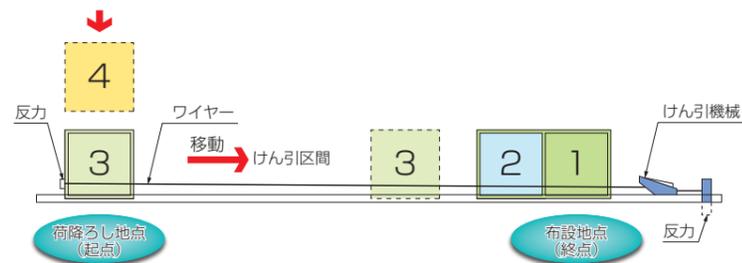
③ 現場対応が可能

特殊な専用施工機械や特殊な材料を必要としないため、経済的で現場条件の変化に対応できます。

④ 用途

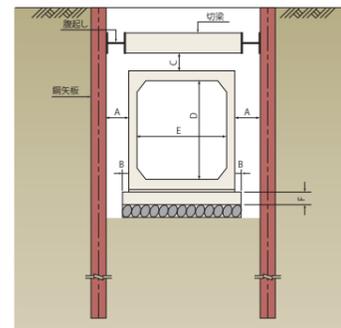
下水道・河川水路・貯留槽等の函体で狭隘な場所・覆工桁下の道路横断・橋梁下の横断等に対応できます。

● 施工概要図



けん引時は、ガイドアングルと製品との摩擦を低減するため、ガイドアングル上に滑剤を塗布します。

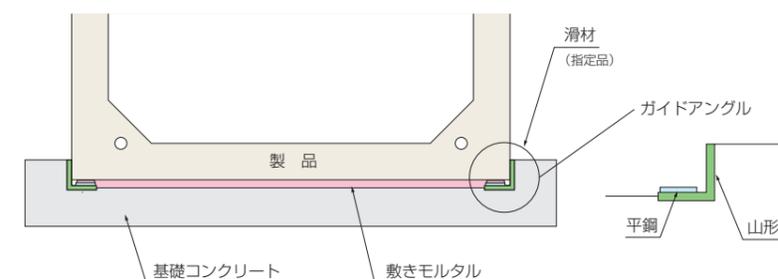
● 標準施工断面図



● 施工条件

位置	寸法
A 製品外面より土留	200mm以上
B 製品外面より基礎コンクリートの張出距離	100mm
C 製品天端より切梁下面までの距離	100mm以上
D 製品最小内高	特に制限無し
E 製品最小内幅	特に制限無し
F 基礎コンクリート厚	150mm以上

● 基礎の詳細



施工手順



施工事例

